

問2 学童クラブでたのしいあそびはありますか

「楽しいあそびがある」と回答した児童は86%でした。

こどもたち一人ひとりが放課後を過ごす空間の中で自分が楽しめる遊びを見つけています。室内ではボードゲーム、トランプやUNOなどのカードゲームを用意し遊びを通して友だちとのかかわりを深めています。今後もレゴブロックの追加などこどもたちが楽しめる遊具を揃えていきます。外遊びではドッジボールやサッカーが人気です。勝ち負けにこだわってしまう場面も見受けられますが、遊びの中で培われる協力やルール作り、譲り合いや思いやりも大切にしていきたいと思えます。けん玉やコマなど学童ならではのあそびも継続していきます。

問4 おやつのはきはきはすきですか

「すき」と回答した児童は67%でした。

ほとんどの児童が日々のおやつを楽しみにしています。好き嫌いの偏りがある児童もいて、日によって食べられるおやつが少なかったり、なかったりする時もあるので、献立のおやつに他のおやつを追加して、用意しています。手作りのおやつも実施しています。次年度は手作りおやつ回数を増やしていきたいと思えます。

問7 あなたは学童クラブのみんながつかうばしょが、かたづいてるとおもいますか

「かたづいていない」と回答した児童が33%でした。

育成室がかたづいていないと感じている児童の声は自由意見の中にもありました。片付けの声かけを徹底し、職員も一緒に実施していきます。みんなで使う物だけでなく、個人の引き出しや持ち物の管理も意識して整理整頓ができるようにしていきたいと思えます。

問11 あなたは学童のスタッフ(せんせい)があなたの気持ちをきいてくれてたいせつにしてくれていると思えますか

「おもう」と回答した児童は45%でした。

こどもがかかわりや助けを求めてきた時は適切なやり方で応じるように努めていますが、まだまだ一人ひとりの児童には応じることができていません。特に八小学童クラブの児童は、大人との密なかかわりを、求めている児童が多く、その対応に追われている状況です。共にあそぶこと、個別の声かけ、アイコンタクトなどを通してかかわりを深め、思いをできる限り受けとめていきたいです。

自由意見より

「男子がうるさい」「暴力をして嫌だ」「ケンカが多過ぎ」「ケンカをなくしてほしい」などの意見がありました。全体的に男児の騒がしさや落ち着きのなさが目立ち、自己主張や正義感からケンカやトラブルになることが多く見られます。活発な男児が活躍できる場面や役割りなどを設定すると共にこどもの気持ちを丁寧に聞き取り、望ましい行動がとれるよう支援します。ケンカにならないような環境作り(ルールの確認、十分なあそび時間と空間の確保など)にも努め、保護者とも情報共有して健やかな育ちを目指していきます。